



メコンの流れ



プノンペン日本人学校



「旅先で思う ～もっと楽しく、のびのびと」

校長 伊藤 潔

ずっと行きたかったアンコールの遺跡巡りに、夏季休業期間を利用して行くことができました。かつて、タイ東北部のアンコール遺跡を巡った時の感情がよみがえってきて、有意義な時間となりました。陸路で移動しながら、サンボープレイクックのプレアンコール遺跡の静かなたたずまいに感動し、コンボンクディの今も生きている古橋に感動し、アンコールワットの日の出の神々しさに感動しました。苦難の現代史を乗り越え、世界中の人々を引き付けて止まないこうした文化遺産を誇るカンボジアは、とても魅力的な国だと改めて思いました。そして、旅先で感心したのは、語学に堪能なカンボジアの人々の姿です。英語はもちろん、日本語、中国語、韓国語、フランス語（たぶん）、様々な言葉で笑いながら楽しそうに案内する多くのガイドさんたちの姿がとてもかっこよかったです。街に出れば、食堂でも、売店でも、屋台でも、英語ははじめ多くの言葉で気さくに話しかけられました。私はなぜかハングル語で話しかけられることが多く、訂正するのも途中からやめて、「アンニョンハセヨ」と笑顔で返していました。



世界中からたくさんの外国人が訪れ、観光が大きな収入源となっているカンボジアにおいて、語学力は自身の収入を左右する重要なスキルであることは間違いありません。けれど、中高大と8年間もそれなりに勉強しながら、人前に出ると片言の単語も出てこない私としては、不思議でならないのです。多分高等教育を受けずに仕事を始めたであろう屋台の若いお兄さんやルモークの運転手さんも、簡易な英単語を並べて、笑顔で話しかけてくれます。その気さくさとたくましさに関心しきりの日々です。

プノンペン日本人学校では英語教育にとても力を入れています。児童生徒や保護者に選んでいただける魅力ある学校にするため、工夫している教育活動の一つです。日本人学校で学ぶ子供たちやカンボジアの人々を見ると、私自身のこれまでの英語学習の姿勢をつくづく反省させられます。もっと楽しく、のびのびと、言葉が通じる面白さをどうして味わわなかったのだろうか。





夏休み作品展

2024年9月3日(火)～9月6日(金) 3F多目的室

「夏休み中に作った作品を、互いに鑑賞し合うことで情操を養い豊かな心を育てる。」をねらいに夏休み中に児童生徒が作った作品を、学校で展示します。

保護者も来校し、ご覧になることができます。保護者のご覧になれる時間帯は **13:00～14:45** です。多目的室入り口で受付簿に名前を記入してください。
また、入校証を入り口玄関で提示してください。

